

海外日本語教師訪日研修

申請要領 第2部 【日本語研修】

令和5年度用 [NC-JT 2023]



JAPAN FOUNDATION
国際交流基金

1 趣旨

日本語運用力の一層の向上を必要とする日本語教師を対象に、教師として必要な日本語運用力の向上を目指し、また日本の社会や文化に対する理解を促す約6週間の集中研修を実施します。日本語教授法の授業は行いません。

2 プログラム概要

(1) 期間

2023年6月7日～2023年7月21日（予定）

(2) 研修内容

ア 日本語

さまざまな言語活動を通して、教師として必要な日本語によるコミュニケーション能力を向上させます。「食生活」「買い物」「旅行と交通」などのトピックについて、「話す」「聞く」「読む」「書く」活動を行います。また、語彙や文法など、日本語の知識を整理します。

イ 日本文化／日本事情

日本語の授業の中で扱うことができる日本文化や日本事情について、講義やワークショップなど様々な方法で学んだり体験したりします。クラスメイトとのやりとりを通して異文化理解能力を身につけます。また、地方研修、学校訪問、茶道等のデモンストレーションなどの文化体験プログラムもあります。

(3) 採用予定人数

約40名

3 申請資格

海外で日本語教育を行う教育機関（個人からの申請は受け付けません）。

参加候補者は、申請要領第1部【共通事項】に記載の要件を満たしていなければなりません。

加えて、本研修では以下の条件が必要となります。

(1) 対象地域：全世界

(2) 日本語教授年数：2022年12月1日時点で、6か月以上の日本語教授年数を持つこと。（個人教授及び教育実習の期間は除きます。）

(3) 日本語運用力：申請時点で下記のいずれかを満たしていること。

ア 日本語能力試験 N4 若しくは N5 程度、又は旧日本語能力試験 3 級若しくは 4 級程度（※）

イ JF 日本語教育スタンダードで A2 レベル程度

※ このプログラムでは、上記アまたはイを超える日本語運用力がある方は対象になりません。

※ 今までに日本語能力試験を受験したことのない参加候補者は、本申請要領に別添された日本語運用力自己診断テストを自分で解いて、その採点結果を添付書類2「候補者の日本語運用

力、日本語教授歴などについて」の所定の欄に記入してください。記入がない場合は、申請が無効になる場合がありますので、注意してください。テスト自体の提出は不要です。

- (4) 日本語教師訪日研修受講歴：2017 年 4 月から 2022 年 12 月 1 日までに JF や日本の大学等において、1 か月以上の日本語教師訪日研修を受講していないこと。

4 選考方針

- (1) 当該国・地域や機関での日本語教師研修の必要性、申請機関が「さくらネットワーク」の認定機関であるか、候補者の日本語運用力、教授経験の他、候補者のポジション（専任／非専任）、影響力等の観点から審査します。

※ 「JF にほんごネットワーク（さくらネットワーク）」については以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/education/network/>

- (2) 2022 年 12 月 1 日時点で、55 歳以下の参加候補者を優先します。

5 参考情報

- (1) 令和 4（2022）年度採用実績
採用 50 名／申請 115 名